

### 分かるレベル

- I 自分ができる。
- II 自分のわかったことが説明できる。
- III 自分のわかったことが教えることができる。
- IV 自分がわかっている事を分からない友達に支援できる。

### 学びのルール

- ◎ 分からないときは、周りの子へ「教えて」と聞ける子を育てる。(他人への依存) →自立につながる
- \* 分かっている子は、「教えてやろうか」とは言ってはいけない。あくまで、聞いていいよというオーラを出せる子にする

### 1・2年生

◎友達の話が、最後までしっかり聞ける子を育てる  
(お互い相手の目を見て)

### 3・4年生

◎2人または4人のグループで分からないことが聞き合える  
IVの児童を50%

### 5・6年生

◎2人または4人のグループで分からないことが聞き合える  
IVの児童を75%

## 自立(人のせいにならない)した児童の育成 = 聞き合える関係作り

# 先生

## 子どもをまるごとひき上げる

先生方も聞き合える関係を！

授業という同じ土俵で語る

- 1 どうしたの？
- 2 どうしたいの？
- 3 何か手伝えることはある？ こんなことなら手伝えるけど
- 4 ○○さんに聞いてごらん（本当に聞けるか、聞いているかを見守る）\*禁句「○○さん、△△さんに教えてあげて」

# 家庭

## 自立を促す魔法の言葉

- 1 「～なの」と、子どもの言った台詞を復唱する。
- 2 「なんで？」と聞かない  
＜言われたこどもは、言い訳を探し出す＞
- 3 どうしたの？ どうしたいの？（どうすればいいの？）  
なにか手伝うことある？

### <基礎的環境整備>

- わかりやすい授業<視覚・口頭>
- 授業への参加度をあげる
- 読み、書き、計算はきちんと

### <学級経営及び学校全体で取り組む>

- 自己肯定感、自己有用感をあげる 授業では、子どもの考えをつなげ、ひろげる
- できていないことに目をむけるのではなく、普通にできていることを賞賛する
- どうすればよいか決めさせる